

学校 教育 目標	自分らしさを創る たくましい ちがさきっ子 ～やってみよう ふれあおう きたえよう あらわそう～			
	【知】 やってみよう…何事もチャレンジ ○自ら課題を発見し、解決する過程を深められる子を育てます 【公・開】 あらわそう…自分の思い ○地域と社会の変化に柔軟に対応し、自分の思いを様々な方法で表現できる子を育てます 【徳】 ふれあおう…自分も大切な人も大切 ○地域の人や自然とのふれあいを大切にし、豊かな人間関係を育める子を育てます 【体】 きたえよう…心も体も ○心身ともにたくましく健康的な子を育てます			
学校 概要	創立 34 周年	学校長 高橋 美都子	副校長 西川 雅行	2 学期制 一般学級: 28 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 904 人	主な関係校: 茅ヶ崎中学校 早渕中学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	茅ヶ崎中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<コミュニケーション力> <問題発見・解決能力> <社会生活との関わり>	茅ヶ崎中学校 茅ヶ崎小学校 茅ヶ崎台小学校 茅ヶ崎東小学校	・主体的に学習し、伝え合いながら学びを深める子ども(コミュニケーション力) ・協働的に解決策を見出し、実行する子ども (問題発見・解決能力) ・地域と自らかかわり、支えあう子供 (社会生活との関わり) --- “魅力ある茅ヶ崎中学校区を目指して” ～育成を目指す資質・能力の視点での小中教科指導の工夫～ ・年2回の授業参観・研究協議会の設定 ・年1回の職員交流会(R4年度は見送り) ・年2回(合唱交流・部活動見学会)での児童生徒同士の相互理解 ・年5回のコメンターによる推進協議会

中期 取組 目標	豊かなふれあいを大切にしなが、一人ひとりが安心して笑顔で過ごせる学校づくりに努めます。 ○一人ひとりが自分の考えをもち、伝え合うことを通して、学び合う楽しさを実感できる授業づくりを推進します。 ○様々ななかかわりあいの中で育つ自己肯定感や自己有用感を基本にした、豊かな人間関係力の構築を図ります。 ○地域の人々、自然、施設などに積極的に関わる「体験学習」を通して、地域協働教育の充実を図ります。 ○教職員の連携を促進し、学校教育目標の実現に向けて活力ある組織的な取り組みを行います。 ○働き方に対する教職員の意識を改革し、業務のスリム化を行います。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
知 確かな学力 担当 学力・教師力向上部会	①交換授業や少人数・TTによる指導、特別支援教室など児童の実態に即した指導形態や方法を効果的に取り入れる。 ②学習課題を設定する際に児童の考えをいかすことで、主体的に学習に取り組むことができるようにする。(重点研究を中心に行う。)また、実生活を含む様々な場で活用可能な問題発見、課題解決の資質・能力の育成につなげる。 ③学習のねらいを明確にし、授業の質を高める。また、UDを意識し「分かる楽しい授業」の具現化に努める。
徳 豊かな心 担当 豊かな心の育成部会	①全学級での道徳の授業公開を行い、保護者にも「道徳教育」について知ってもらえる機会を作る。 ②なかよし活動による異学年交流を行い、相手を思いやる心を育てる。 ③中学校ブロックで目的を共有した取組(あいさつ運動)を行う。
体 健やかな体 担当 健康安全部会	①学校保健委員会の活動を通して健康について積極的に考える機会を作る。 ②食育推進委員会の活動を活発にし、食育の年間指導計画を明確にする。 ③短縄の実践や児童会主催の活動を通して、児童が運動に親しむ機会と場所を作っていく。
公 開 地域連携 地域理解 担当 「ちがさき」推進部会	①地域の材(人・施設・自然・伝統文化等)を大切にしての方々の思いに触れる活動を、生活科・社会科・総合的な学習の時間を中心に、取り入れていく。 ②特に地域コーディネーターの力を借り、茅ヶ崎のまちに学ぶ具現化を図る。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①全市一斉のアンケート以外にも、記名式の生活アンケートを実施し、早期発見、早期解決を目指す。 ②疑いを含めて事案を把握した場合には、いじめ防止対策委員会で積極的に認知し、組織的に対応していく。 ③いじめ対応に関する研修等を実施し、教職員がいじめ事案の対応についてのスキルの向上を目指す。
人材育成・ 組織運営(働き方) 担当 教務・メンターチーム	①学年内の交換授業や教科担任を行い、常に自分の指導法や指導技術を見直す機会を作っていく。 ②重点研究と年次研修とメンターチームの取組を連携することで、授業力や運営力などの向上に努める。 ③会議の目的や進行方法を明らかにし、タイムマネジメントの意識をもつ。 ④ミラロを効果的に活用し、情報の伝達・共有を図る。
特別支援教育 担当 特別支援教育委員会	①ユニバーサルデザインの視点に立った授業の工夫や特別支援研修を行い、児童が落ち着き安心して学習できるようにする。 ②校内委員会を設置し、配慮を要する児童に対する共通理解を深め、特別支援教育支援員の活用を図り、校内支援体制を整える。 ③必要に応じて、療育センター等の外部機関と連携し、丁寧なアセスメントを心がけ、有効な支援方法を探る。
児童指導 担当 豊かな心の育成部会	①要配慮児童や各学年での事例について、C部会や打ち合わせ、職員会議などで情報共有し、組織的な児童指導にいかす。 ②YPアセスメントや横浜プログラムを実施し、児童理解、集団づくりにいかす。 ③学校のきまりを中心に、教職員が一貫した指導を心がける。また、社会情勢に沿ったものになるよう、必要に応じて見直していく。
自分づくり (キャリア教育) 担当 「ちがさき」推進部会	①なかよし活動で異学年との交流を行ったり、地域の方々と触れ合えるような学習に取り組んだりする。 ②振り返りカードや自分づくりパスポートを活用し、行事や学習活動の後で自己や周囲のよさや成長に気付く取組を行う。
安全管理 担当 健康安全部会	①避難訓練に加えて、交通安全教室、不審者対応訓練、集団下校訓練等を行っていく。事前の綿密なシミュレーションをもって教職員の研修とする。 ②共通で使う場所や物をきれいにしよう、整理しようという気持ちを育てる。 ③校舎内外の整理整頓や危険箇所の発見に努め、児童が気持ちよく、安全に過ごせるように環境を整える。